

シラバス 自動車整備科 一級自動車整備士 コース

講義名	＜実習＞ 一年次 基本③実習 ステアリング装置				
概要と目的	職場レベルの技術を身に付ける ステアリング装置の構造理解・調整体得				
担当者	花岡 大輔、宮澤 圭輔	単位数	45 時限	区分	実習
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員がステアリング装置について教育を行う科目。				
講義対象	一年生	時期	9月下旬～12月		
使用教材	単体:マニュアルステアリングギヤ(ラック・ピニオン及びボール・ナット)、 ボール・ナット型ステアリング、車両:ヴィッツ、教科書:3級シャシ				
到達目標	個人レベルの作業の習得、作業手順の習得				
成績評価	実技試験・出欠点・平常点 A評価が全体の25%、B評価が45%、C評価が30%を基準とする。				
授業計画					
1時限	ラック・ピニオン導入				
2時限	実習ノート作成、教室移動、班編成 ステアリング装置の概要 II. 実車での装置の構造を確認				
3時限	実車での装置の構造を確認 ステアリングギヤの工夫				
4時限	伝達順序の再確認 ステアリングギヤの工夫				
5時限	ステアリングギヤの切れ角の測定実験 ギヤ比のまとめ リンク機構の実験 切れ角のまとめ、復元				
6時限	切れ角とアッカーマンジャント ステアリング・ホイールの脱着 車両復元 部品名称記入 ステアリングギヤ分解開始				
7時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH (1) 部品名称記入 (2) 分解手順板書、図と照合させる。				
8時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH (1) 部品名称記入 (2) 分解手順板書、図と照合させる。				
伝達事項等					
校長	所 属		授業資格	実務経験	
	学科長	担当者	学科実習 あり	あり	

シラバス 自動車整備科 一級自動車整備士 コース

講義名	<実習> 一年次 基本③実習 ステアリング装置				
概要と目的					
担当者		単位数		区分	
講義対象		時期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
9時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH スケッチ				
10時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH 各部点検 清掃、スケッチ				
11時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH 各部点検 スケッチ、各部点検、良否判定、故障探求				
12時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH 各部点検 スケッチ、各部点検、良否判定、故障探求				
13時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH 部品名称、動力伝達、故障探求 組付(単体プレロード)、反復練習				
14時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH 組付(総合プレロード)反復				
15時限	マニュアル・ラック・ピニオンOH 組付最後まで タイプII 分解、可変ギヤ比の説明(概要)				
16時限	タイプII 清掃、組付 SRSエアバッグの説明(部品、概要)				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			

シラバス 自動車整備科 一級自動車整備士 コース

講義名	<実習> 一年次 基本③実習 ステアリング装置				
概要と目的					
担当者		単位数		区分	
講義対象		時期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
17 時限	SRSエアバッグの説明(部品、概要、整備上の注意点)、 実技試験の内容説明 反復練習				
18 時限	実技試験の反復練習				
19 時限	実技試験の反復練習				
20 時限	実技試験の反復練習				
21 時限	実技試験の反復練習、まとめ				
伝達事項等					
校長	所 属				
	学科長	担当者			

シラバス 自動車整備科 一級自動車整備士 コース

講義名	＜実習＞ 一年次 基本③実習 ステアリング装置			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
授業計画				
22 時限	ボール・ナット型実習導入			
23 時限	ステアリング機構の目的, 概要			
24 時限	ステアリング・リンク機構 (1) 名称と実車確認			
25 時限	(2) リンク機構の製作			
26 時限	(3) 切れ角測定			
27 時限	ステアリング操作機構 (1) ハンドル脱着			
28 時限	”			
29 時限	4輪操舵機構			
伝達事項等				
校長	所 属			
	学科長	担当者		

シラバス 自動車整備科 一級自動車整備士 コース

講義名	<実習> 一年次 基本③実習 ステアリング装置				
概要と目的					
担当者		単位数		区分	
講義対象		時期			
使用教材					
到達目標					
成績評価					
授業計画					
30 時限	ボール・ナット型ギヤ機構 (1)動作の確認				
31 時限	(2)分解 (3)部品名称				
32 時限	(4)スケッチ				
33 時限	(5)構造, 作動				
34 時限	(6)ギヤ比				
35 時限	(7)点検, 判定				
36 時限	(8)組み付け 1. ウォーム・シャフト関係				
37 時限	2. ガスケットの作成				
伝達事項等					
校長	所	属			
	学科長	担当者			

シラバス 自動車整備科 一級自動車整備士 コース

講義名	＜実習＞ 一年次 基本③実習 ステアリング装置			
概要と目的				
担当者		単位数		区分
講義対象		時期		
使用教材				
到達目標				
成績評価				
授業計画				
38 時限	3. セクタ・シャフト関係			
39 時限	4. バックラッシュ			
40 時限	〃			
41 時限	総合練習			
42 時限	総合練習、まとめ			
43 時限	実技試験			
44 時限	実技試験			
45 時限	実技試験			
伝達事項等				
校長	所 属			
	学科長	担当者		